

| | |
|--------|--|
| 事案名 | 滝野町の事案（兵庫県28-4） |
| 分類 | 発見・被災・掃海等処理 現在の状況 |
| 資料 | <ul style="list-style-type: none"> ・証言〔1〕 ・「『旧軍毒ガス弾等の全国調査』のフォローアップ調査に係る追加情報について（回答）」平成15年9月8日〔2〕 ・「『旧軍毒ガス弾等の全国調査』のフォローアップ調査について（回答）」平成15年10月6日〔3〕 |
| 資料内容概要 | <p>昭和26年～27年頃、兵庫県滝野町の青野原演習場で、地中に埋めてあった催涙弾を掘り出し持ち帰ったとの証言がある。</p> <p>発見・被災・掃海等処理情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・証言によれば、「昭和26年～27年頃に、自分が中学生のときに、友人2人と滝野町の青野原演習場内に埋めてあった催涙弾を掘り出し持ち帰った。数等は、はっきり覚えていない。50センチぐらい掘ったところから出てきた。家に持ち帰ったが、かなり腐食しており中身（固形物）が漏れ出し、涙が出てしかたがなかった。すでに撤去していなければ今も埋まっていると思う。なお、友人の父が、終戦時に砲弾を埋めたところを目撃していたため、埋められている場所を知っていた。鉄が高く売れるために掘り出しに行った」と記載されている〔1〕。 ・兵庫県は、証言内容を確認するため、上記証言者と一緒に青野原演習場に行ったとされる二人に聴取した結果、「隠してあった重油を持ち帰ったことはあるが、催涙弾を持ち帰ったことはない。そのような話は知らないとのこと。また、別の人物（通報者とは現場に同行していない）から事情聴取した結果、指摘の場所からは銃（三八式歩兵銃）が埋まっていると聞いて探しに行ったことはあるが、何も出てこなかった。催涙弾が埋められているようなことはないと思う」と記載されている〔2〕〔3〕。 <p>現在の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧青野原演習場の一部には昭和51年8月から陸上自衛隊青野原駐屯地が立地し、第8高射特科群等が駐屯している。催涙弾を掘り出したとする場所は、陸上自衛隊青野原演習場内の北端部分で、過去に整地された形跡がある。近傍には、電力会社の高圧送電用鉄塔が設置されている。付近集落内2ヶ所での地下水質調査結果においては、いずれもヒ素は不検出であった〔3〕。 |